

「産休サンキュープロジェクト」（第4期）への参加申込み概要

「産休サンキュープロジェクト」にご賛同いただき、誠にありがとうございます。参加いただくにあたり、以下をお読みいただき、ご了承の上お申込みくださいますようお願いいたします。

1. 「産休サンキュープロジェクト」とは

“新しいいのちの誕生”をきっかけに、アフリカで支援を必要とする人々に目を向けていただき、「赤ちゃんの生まれてはじめての社会貢献」を通じて、アフリカの人々が自らの力で困難に立ち向かう力を育み、最も支援を必要とする子どもたちやそのご家族の健やかな生活を支え、寄り添うプロジェクトです。（詳細については本紙P3「産休サンキュープロジェクト概要」をご参照ください）

2. 実施期間

令和3年1月1日から令和5年12月31日まで（3年間）

※ 第1期：平成25年4月1日～平成27年12月31日（2年9カ月間）

第2期：平成28年1月1日～平成29年12月31日（2年間）

第3期：平成30年1月1日～平成32年12月31日（3年間）

※ プロジェクト終期に、支援ニーズとプロジェクト効果を勘案して継続を検討します。

3. 参加方法

（1）参加希望形態（以下からご選択ください）

ア. 企業・団体が年間の社員・職員の各家庭の出産人数に基づき寄付

※ 社員・職員の方々のご出産に限らず、ご家族やご親戚・ご友人・同僚の方のご出産をきっかけにして、更にご支援いただける場合は「出産人数×α」で寄付していただけますと幸いです。

イ. 子どもの誕生を迎えた社員・職員等が行う寄付を企業・団体が取りまとめて寄付

ウ. 子どもの誕生を迎えた顧客や本プロジェクトに賛同する顧客等からの寄付を企業・団体が取りまとめて寄付（販売商品の売り上げの一部の寄付などを含む）

エ. 上記イまたはウに併せて、社員・顧客の寄付に上乘せ寄付

オ. 上記以外の方法での寄付（出産数を問わず企業・団体として一定額の寄付など）

（2）送金時期

御社・貴団体で寄付金をとりまとめていただき、10月（上半期）または3月（下半期）に日本赤十字社へご送金下さい。送金の際には、「寄付お申込書」（本プロジェクトご賛同後に別途ご案内させていただきます）に必要事項を記載し、日本赤十字社にメールまたはFAXでご送付願います。

（3）参加期間

一年単位での参加となります。なお、参加取消のお申し出がない限り、参加は自動的に継続されます。

（4）参加の取消

参加いただいた企業・団体は、日本赤十字社に対し、書面でのお申し出（Eメールを含む）により、いつでも参加を取り消すことができます。また、日本赤十字社は、企業・団体が次のいずれかに該当する場合、参加を取り消すことがあります。

なお、参加取消後においても、日本赤十字社は、企業・団体の過去の参加に伴う活動報告等に関する情報を保有し、プロジェクトに活用することができるものとさせていただきます。

- ア. 本プロジェクトの趣旨に明らかに反するような行為があったと認められるとき。
- イ. 法令、公序良俗に反する行為をしたとき。
- ウ. 活動の強制や、疑わしい行動で利益誘導を行ったと認められるとき。
- エ. 倒産、解散したとき。
- オ. その他、日本赤十字社の信用を著しく傷つける行為があったと認められるとき。

4. お申込み方法

(1) 別紙様式の参加申込書にご記入いただき、Eメールまたは郵送にてご送付下さい。

e-mail : sankyuthankyou@jrc.or.jp

送付先 : 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3

日本赤十字社 国際部 開発協力課 産休サンキュープロジェクト担当

(2) 日本赤十字社で書類を確認させていただき、受領完了のメールを送付いたします。この受領完了のメールをもって参加開始となります。

(3) 参加いただいた企業・団体名は産休サンキュープロジェクトの推進を目的に、一般公開させていただきますので、ご了承ください。(公開を希望されない場合はお知らせください。)

5. プロジェクトロゴマーク使用にあたっての注意

- (1) ロゴマークの使用を希望される際は、媒体や文言等について予めご相談下さい。弊社規程等により制限をさせて頂く場合もありますのでご了承下さい。
- (2) ロゴマークを使用される際には縦横比・色彩等の変更をしないで下さい。
- (3) ロゴマークを他企業・団体(個人を含む)へ譲渡・流出することはお避け下さい。
- (4) ロゴマークのご使用は、プロジェクト参加期間中に限ります。
(期間内に作成した広報媒体等については、掲載終了時期まで継続して使用いただいて結構です)
- (5) ロゴマーク使用媒体に関する一切の責任を日本赤十字社は負うものではありません。

6. プロジェクトロゴマークデザイン

ロゴマーク①: 御社のロゴと日本赤十字社のロゴ入り



ロゴマーク②: 日本赤十字社のロゴ入り



「産休サンキュープロジェクト」概要



プロジェクトコンセプト

新しい命の誕生は、家族にとっても、社会にとっても、大きな喜びです。

けれど、アフリカに生まれた子どもたちの命と健やかな成長は、様々な課題に脅かされています。

本プロジェクトでは、日本に生まれた赤ちゃんの誕生をきっかけに、そのご家族と企業・団体が一緒になって、アフリカの子どもたちやそのご家族の支援を行っています。

世界中が新型コロナウイルス感染症に立ち向かう今だからこそ、アフリカに目を向けてみませんか。日本の私たちとアフリカの人びとで手を携えて、この困難を乗り越えていきましょう。

小さな命を救う、私たちの使命

「生まれてきたわが子が健やかに育ってくれるように」と祈るご家族の気持ちは世界共通のものです。しかし、アフリカ地域では、今なお、多くの子ども達が主に感染症や栄養不足などにより幼くして命を落としています。その率は世界平均の2倍。正しい予防と治療、安全な水や食べ物、衛生設備の整備・充足などがあれば、大切な命と健康を守ることができるのです。

アフリカの保健分野における課題を改善するためには、保健だけでなく貧困対策や教育といった様々な観点から包括的な支援を行うことが不可欠です。

日本赤十字社は、アフリカ地域での保健課題を改善するため、現地の赤十字社とともに様々な取り組みを行っています。本プロジェクトで寄せられた皆さまのご支援で、アフリカに生まれてきた尊い命を守り、子どもたちの健やかな成長に寄り添います。

	世界	サハラ以南のアフリカ
5歳未満児死亡率 (2019年、出生1000人あたり) ^{※1}	38人	76人
基礎的衛生サービスを利用する人の割合(2017年) ^{※1}	74%	31%
HIV感染者数 (2019年) ^{※2}	3,800万人	2,560万人 (世界の約70%を占める)

参考 ※1 ユニセフ世界子供白書 2019

※2 Levels and Trends in Child Mortality, UN, 2020



ナミビアのキッズクラブで衛生用品を受け取り喜ぶ子ども達 ©IFRC

参加方法とご寄付の目安額

企業・団体単位で、社員・職員や顧客の皆様からのご寄付を集めていただいています。

以下を参考に、温かいご支援をお願いいたします。

例えば、東アフリカや南部アフリカでは・・・こんなことができます

4,500円



食糧パック
(5人家族1カ月分：
豆、砂糖、石鹼など)

5,000円



制服一式
(シャツ、ズボン、スカート、
靴、靴下、ジャージなど)

18,000円



健康教育の
アニメ映画上映
(1村1回分)

23,000円



健康教育の
ラジオ放送
(1村1回分)

ご参加企業・団体の皆さまへ：

1. 支援成果を感じていただけるような報告書（ニュースレターや現地からの「ありがとう」のビデオレター等）をお届けします。
2. ご要望に応じて講演会・報告会（対面/リモート）を実施します。
3. 現地からの報告書や広報資材など、自由にご活用頂ける元素材を提供します。
4. 状況やご要望に応じて、事業地視察が可能です。 ※視察にかかる費用等はご負担ください。
5. 日赤の広報媒体などで賛同企業・団体として社名・団体名を掲載させていただきます。